

外郭団体に関する特別委員会実地視察報告

令和2年12月15日に、外郭団体に関する特別委員会がホテル神戸六甲迎賓館及び六甲有馬ロープウェーを視察いたしました。

ホテル神戸六甲迎賓館は、平成30年度「賑わい創出事業」として採択され、山上を訪れる全ての人に開かれた施設をコンセプトに、令和2年3月、リゾートホテルとしてオープンしました。

六甲の自然と港町神戸をイメージした赤レンガと欧風モダンな外観が特徴で、六甲山付近で収穫した山の幸、近郊農家から直送される地野菜や米など、神戸の旬なものを使った安全で体に優しい料理が提供されます。

また、ホテルの南側敷地には様々な人が交流できる場として、イベントなどを行うためのセンターハウスの建設も予定されるなど、六甲山に更なる活性化をもたらすことが期待されています。



六甲有馬ロープウェーは、六甲山頂と有馬温泉を約12分で結び、神戸の大自然と温泉観光地を結ぶ公共交通手段として、神戸観光の大きな役割を果たしています。

開業50周年を迎えるにあたり、令和2年3月に新ゴンドラが導入されました。展望シートを一段低いステップに配置したデザインは日本初導入となり、大きく広がるガラス面からは、六甲山の自然をスリリングに体験できます。

また、併せて、有馬の温泉駅舎についても、乗車する期待感を高める仕様に内装の装飾等のリニューアルが行われました。

